

2006 年度第 1 回（通算第 7 回）統計関連学会連合理事会議事録

文責 竹村 彰通

日 時：2006 年 8 月 4 日（金）17:00 - 19:30

場 所：統計数理研究所 特別会議室

出席者（学会名の五十音順）：

応用統計学会： 清水邦夫, 広津千尋
日本計算機統計学会： 山本義郎（代理出席）
日本計量生物学会： 丹後俊郎, 岩崎 学
日本行動計量学会： 馬場康維
日本統計学会： 山本 拓, 竹村彰通
日本分類学会： 矢島敬二
ジャーナル検討委員会： 田中勝人

議 事

1. ジャーナル検討委員会からの報告および議論

ジャーナル検討委員会田中勝人委員長より 2006 年 7 月づけ「統計関連学会連合による英文ジャーナルの発行について」に基いて説明があり，それに基づいて連合としてのジャーナルのあり方を検討した．各学会により学会誌に関する事情が異なること，新雑誌発行のための諸条件，などの問題点から，当面新しいジャーナルを発行するのは現実的でないと認識が得られた．このことから，今後連合と A I S M との関連を再検討することとした．

2. 統計関連大学院教育委員会への委員推薦について

委員の推薦を各学会に再度依頼し，委員の推薦がそろった段階で統計関連大学院教育委員会において大学院教育について検討をはじめることが確認された．

3. レンタルサーバについて

日本統計学会よりサーバーの老朽化に伴いサーバー移転を検討しているが web の運営等で連合と協力して進めたい，という申し入れがあり，承認された．

4. 連合関連の会計について

連合および連合大会の会計処理をシンフォニカに委託した件が了承された．

5. 2007 年度連合大会について

応用統計学会，日本計量生物学会，日本統計学会に加えて，日本行動計量学会が連合大会へ参加することを決定し，日本行動計量学会から企画委員が推薦された．また企画委員長として狩野裕氏（阪大）が推薦された．2007 年度連合大会については，各学会の参加形態を含め，今後さらに連合理事会として検討していくこととなった．これにより 2007 年度連合大会については運営委員会を別途設けないこととなった．

6. 次回理事会

9 月 8 日連合大会終了後に東北大学でおこなう．